

十二月二十七日第三回連絡懇談會

泰及佛印ニ對シ採ルヘキ帝國ノ措置ノ件

出席者 總理、平沼、陸、海、外相、總長、軍令部次長

三 外相發言

松宮

ノ樺太大使ノ意見ニ依レハ對佛印施策ニハ武力的威壓ヲ必要トス

強硬態度ヲ採ルヘシ

2. 泰勢力英米七割、日本三割、強力施策ノ要アリ

3. 佛印ハ松岡「アンリー」協定ニテ我ヲ馬鹿ニシテ居ル爾後若干

強硬態度ヲ採ルヘシ

經濟交渉ハ案外マトマルカモ知ラス

三 海相發言

0018

1. ラッヴァールニ失脚ニテ佛印ノ態度變化ナキヤ

2. 強硬態度ニテ物資取得可能ナリヤ

3. 英米刺戟ヲ避ケ更ニ慎重ナルヲ可トセスヤ

又文書諜報ニ依レハ英國ハ日本カ佛印ニ止マル限り戦ヲ愆セス蘭印ニ延ヒルトキハ戦争必至ナリト判断セラル

四、總長發言

對佛印、泰強硬態度ヲ採ルニ於テハ南方施策全般ニ就キ確乎タル腹ヲ前提トス腹決定セサル場合ハ慎重ナルヲ要ス
軍令部次長同意ヲ表ス

五、松岡發言

米ノ問題ハ成ルヘク早ク一月中ニ解決ヲ企圖シアリ

2. 「シンガポール」攻略時期ハ英國敗レタル時、米國參戰ノ時、獨逸敗レントスル時ノ三案アルヘシ

3. 蘭印ハ芳澤ノ「スローモーション」ニテ何ントカナルヘシ

六以上ヲ以テ別紙「泰及佛印ニ對シ探ルヘキ帝國ノ措置」ヲ議決ス

日本標準規格 B-4

0021